

6. 各分類群及び分野のレッドリスト

哺乳類

大阪府産の在来哺乳類29種を対象に、個体数の多少、過去10年の個体数の増減、及び今後の生息環境の悪化などのリスク要因をもとに希少性を判定した。2000年のレッドデータブックで絶滅危惧I類とされたアズマモグラは、大阪府内での記録はないためレッドリストからはずした。大阪府域を含む大阪湾では、明治以降16種のクジラ類が記録されているが、大部分が迷入しただけであり、定着しているスナメリだけを希少性判定対象とした。

近年急減しているという判断から、キツネとハタネズミが絶滅危惧I類に判定された。山間部でチョウセンイタチが増加し、確認例が減少しているため、ニホンイタチは絶滅危惧II類とされた。

今回のレッドリストにおいて、大阪府内で確認された哺乳類のうち、絶滅のおそれのある種の総数は8種（絶滅危惧I類4種、絶滅危惧II類4種）となった。

学名・分類群・配列は、『日本の哺乳類 改訂2版』（東海大学出版会，2008）に基づく。

ランク	和名	科名	上位分類群	学名	改訂前カテゴリー	国カテゴリー
絶滅(EX)						
	該当なし					
絶滅危惧I類(CR+EN)						
↑	ユビナガコウモリ	ヒナコウモリ科	翼手目	<i>Miniopterus fuliginosus</i>	VU	—
	テングコウモリ	ヒナコウモリ科	翼手目	<i>Murina hilgendorfi</i>	CR+EN	—
↑	キツネ	イヌ科	食肉目	<i>Vulpes vulpes</i>	NT	—
○	ハタネズミ	ネズミ科	齧歯目	<i>Microtus montebelli</i>	—	—
絶滅危惧II類(VU)						
○	ミズラモグラ	モグラ科	食虫目	<i>Euroscaptor mizura</i>	—	NT
◇	ニホンイタチ	イタチ科	食肉目	<i>Mustela itatsi</i>	DD	—
↑	スミスネズミ	ネズミ科	齧歯目	<i>Eothenomys smithii</i>	NT	—
○	スナメリ	ネズミイルカ科	クジラ目	<i>Neophocaena phocaenoides</i>	—	—
準絶滅危惧(NT)						
↓	コキクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ科	翼手目	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>	VU	—
↓	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ科	翼手目	<i>Rhinolophus cornutus</i>	VU	—
	アナグマ	イタチ科	食肉目	<i>Meles meles</i>	NT	—
	ムササビ	リス科	齧歯目	<i>Petaurista leucogenys</i>	NT	—
◇	カヤネズミ	ネズミ科	齧歯目	<i>Micromys minutus</i>	要注目	—
情報不足(DD)						
	カワネズミ	トガリネズミ科	食虫目	<i>Chimarrogale platycephala</i>	DD	—
	ニホンジネズミ	トガリネズミ科	食虫目	<i>Crocidura dsinezumi</i>	DD	—
○	ヤマコウモリ	ヒナコウモリ科	翼手目	<i>Nyctalus aviator</i>	—	VU
○	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ科	翼手目	<i>Vespertilio sinensis</i>	—	—

【凡例】↑:アップリスト種 ↓:ダウンリスト種 ○:新規掲載された種 ◇:DD及び要注目から変更された種 ◆:DDへ変更された種